

郷土芸術賞に輝く

〈中〉

受賞者の横顔

扇谷章二さん
(油 絵)

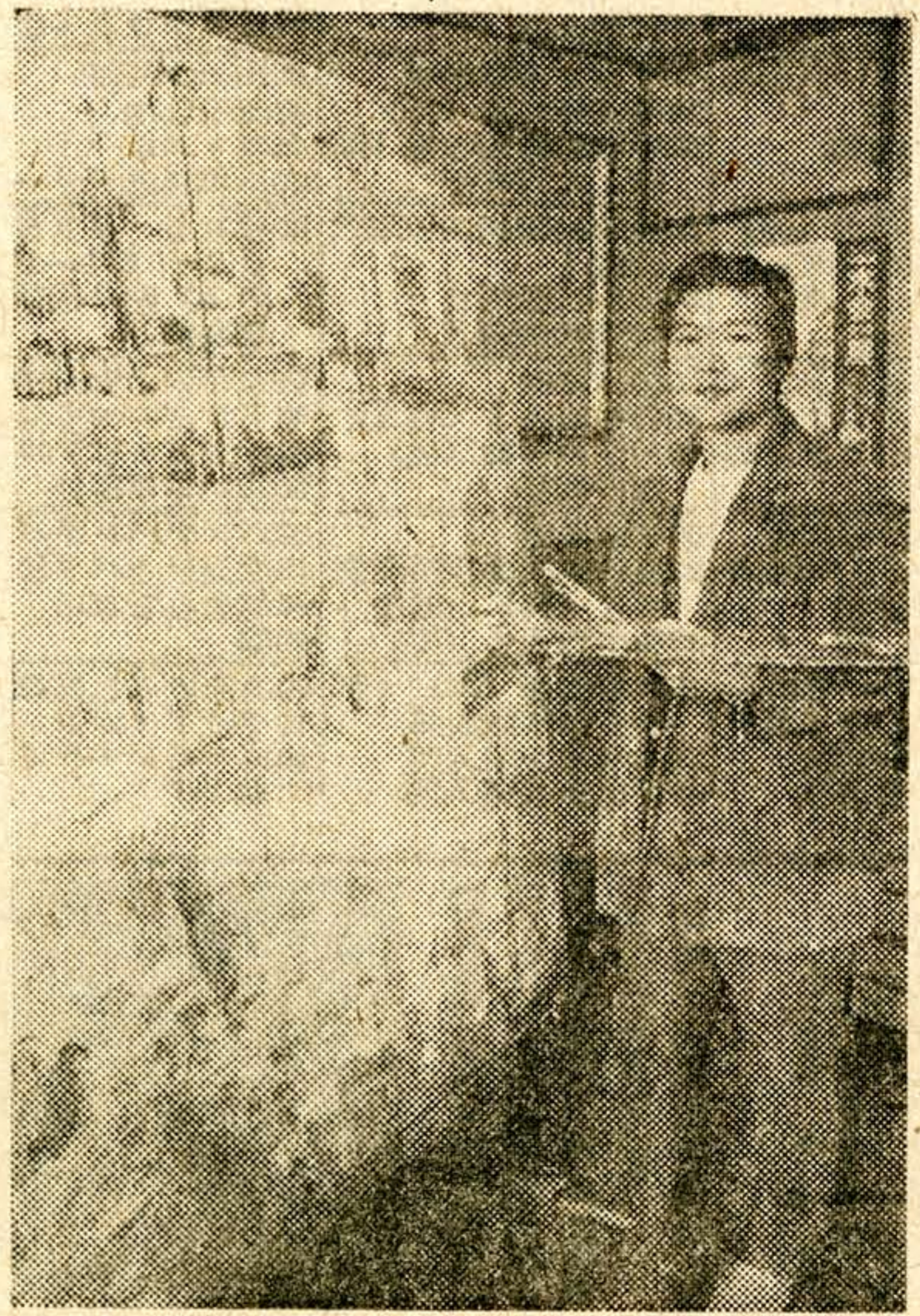
絵は少年時代から好きだったが、最高賞の市展賞受賞、翌三十八で高校に入学したが、一年で中退本格的にカンバスに向かいはじめたのは昭和三十一年に来剣しての。来剣とち鉏路美術協会の萩原勇雄さんら道展の奨励賞、新人賞、時計台 作品に静物が多いのも「商売で

確かなデッサン力

静物と対峙、着実に歩む

ことし四月、鶴屋デパートで初めての個展を開いた。展示作品四十八点、百号の大作三点をふくむその作品群は扇谷さんのそれまでの制作活動の集大成したものとい

て最高賞の市展賞受賞、翌三十八で高校に入学したが、一年で中退本格的にカンバスに向かいはじめたのは昭和三十一年に来剣しての。来剣とち鉏路美術協会の萩原勇雄さんら道展の奨励賞、新人賞、時計台 作品に静物が多いのも「商売で師事してからだ。毎週日曜日のデッサン会に足を運んだ。今日の作品にみられる確かなデッサン力は当時の積み重ねと、その後、静物とのひたむきな対峙に養われたものだろう。昭和三十七年に市民館に出品し



アトリエで百号の風景に取り組み扇谷さん

百号の風景。

いし、自分、それを続けていくつもりですが、その間に風景も描いていきたい。なんでも描けなければならぬでしょう。最近の作品は一水会と道展に出品した「室内の静物」百号と、いま開催中の鉏路美術展に展示されている「静物」。アトリエには未完成のくみなさんのおかげです」と受賞